ずっと元気
けいはん医療生協ニュース

発行 2021年9月1日　No.310

けいはん医療生活協同組合
地域サポートセンター
〒571－0061　門真市朝日町20－15
☎　072（882）5025
FAX　072（882）5048

URL　http://www.keihan-healthcoop.net　　e-mail　info@keihan-healthcoop.net

けいはん医療生活協同組合憲章

私たちは、平和を守り「ずっと元気に　この街で」のスローガンのもと、明るい街づくりや健康づくりが実現できる、民主的な医療生協をめざします。

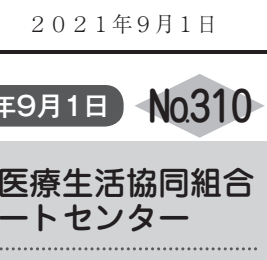
新型コロナウイルス　デルタ株
猛威をふるう

新型コロナウイルス感染は、強い感染力を持つデルタ株（インド株）が猛威をふるい、緊急事態宣言は7府県が追加となりました。重症者が増え、病床は逼迫しています。「ワクチン接種の進展で第5波は食い止められる」という、政府の根拠なき楽観シナリオは崩壊しました。

政府のコロナ対策は、国民への自粛要請ばかり。飲食店などに営業自粛を求めるならば、補償が不可欠ですが、協力金などの支給が遅く不十分なため、廃業に追い込まれる事業者が後を絶ちません。

大規模検査を行い、感染伝播の道を断つこと、「原則自宅療養」の撤廃、臨時の医療施設の大規模増設等の政策が必要であり、臨時国会を開き、首相は自らの言葉で国民と語り合うことが必須です。

（3面を参照）



個人の感染予防だけではもう限界
コロナ対策の根本を見直す時！

熱中症にご注意
屋外での運動や散歩は
不要不急にはあたりません

猛暑が続きますが、マスク着用により、熱中症の危険性が高まっています。お互いに注意しあい、体も動かし、コロナ禍でも、できることをやっていきましょう。

〈出所〉厚生労働省など

- 屋外で人と2m以上離れている時は、マスクをはずしましょう。
- のどが渇いていなくても、こまめに水分補給をしましょう。1日に1・2ℓ以上を目安に。
- エアコン使用中も、こまめに換気をしましょう。
- 暑さに備えた体づくりと、日ごろから体調管理に努めましょう。

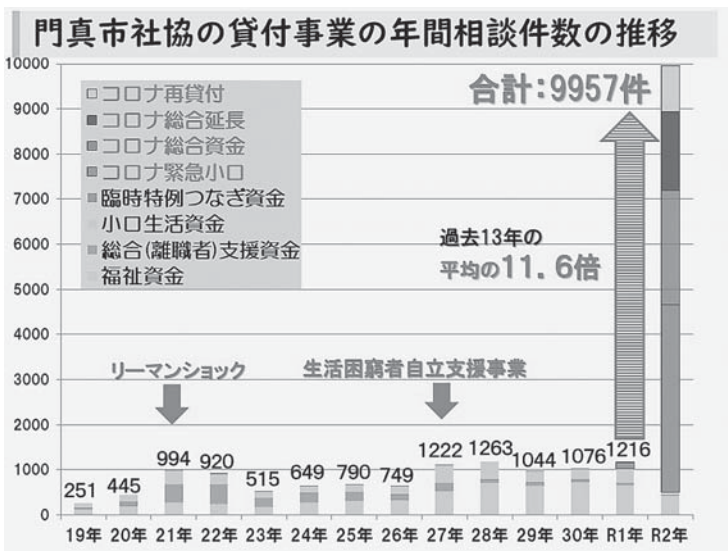
門真市社会福祉協議会との懇談会
貸付事業の相談件数　一挙11倍に！

けいはん医療生協門真協議会では、「門真地域における貧困の実相とフードドライブ等の取り組み方向に関しての懇談会」を7月28日に開催しました。門真市社会福祉協議会の藤江次長に報告内容をまとめていただきました。

門真市社会福祉協議会
次長　**藤江　冬人**さん

食品ロスの削減は、貧困を撲滅し、持続可能な世界を実現するための共通目標、いわゆる「SDGs」の一環です。わが国でも近年、その実現に向けて食材を寄付する「フードドライブ」や寄付食材を生活困窮者へ支援する「フードバンク」の取り組みが、企業や団体、市民個人にも広がりを見せています。

一方、昨年から続くコロナ禍は、感染予防対策の副反応として、社会経済活動に多くの制限が課され、市民生活に大きな打撃を与えています。本会でも昨年3月から、コロナの影響で減収や離職に至った方への支援を目的とした「コロナ特例貸付制度の相談窓口」を担い、2020年度の相談件数は9957件にのぼり、過去13年の平均相談数の11倍を超えました。

相談者はあらゆる年代にわたり、飲食業、建築業、タクシーなどの運送業を中心に、市民の生活基盤を支える所得に深刻な影響を与えており、本会では、2009年度から実施している食材支援の取り組みも含めて、現在も支援を行っています。

フードドライブは「食材（food）」を「寄付する運動（drive）」です。市民一人ひとりの運動により、身近な市民を貧困から救うことが、コロナ禍を地域社会で乗り越え、ポストコロナを市民生活レベルで持続可能な社会とする一歩であると信じています。